

平成29年度 小平第二みどり作業所 事業計画書

1 はじめに

平成29年度は小平第二みどり作業所にとって再出発の年となる。機能分化を目的とした事業再編の成果が求められる。利用者一人ひとりにあった生活スタイルや充実感を重視しながら、「働く」ということに対する支援に力を入れていく必要がある。作業内容やタイムスケジュール等については、活動の中でひとつずつ検討を行っていき、必要があれば見直しをしていきたい。

利用者の作業技術向上や自主製品の開発、販路拡大などに力を入れ、就労支援事業収入の拡大、工賃向上が一つの大きな目標となるが、同時にやりがいと責任感を持って利用者一人ひとりが作業に従事できるようにきめ細かい支援が大切となる。その人らしく働くこと、またそれに対して工賃を保障していくことについて、真摯に取り組んでいく一年としたい。

2 事業概要

- 1) 施設名 小平第二みどり作業所
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市天神町3-7-16
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 40名
- 6) 利用現員 38名 (平成29年4月1日現在)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員 11名 (平成29年4月1日現在)

管理者	1名	常勤1
サービス管理責任者	1名	常勤1
職業指導員	3名	(常勤換算3.0)
生活支援員	5名	(常勤換算3.7)
目標工賃達成指導員	1名	常勤1

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望の持てる生活

4 基本方針

- 1) 就労支援
 - ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
 - ② 生き生きと働ける職場
 - ③ 職業指導の充実
 - ④ 賃金の保障
 - ⑤ 就労移行支援の実施
- 2) 生活支援
 - ① 日中活動の支援
 - ② 豊かな生活の支援
 - ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
 - ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
 - ⑤ 利用者への相談支援
 - ⑥ 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 緑化推進事業
- ⑥ 受注作業（ポスティング作業等）

2) 生活支援事業

- ① レクリエーション（月1回実施）
- ② 音楽教室（月2回実施）
- ③ 旅行（年1回実施）
- ④ 生活支援プログラム（週3日実施）
- ⑤ 夕方生活支援事業（週3日実施）

3) 行事

- | | |
|-----|------------------|
| 4月 | 永年勤続表彰式・新社会人を祝う会 |
| 5月 | 障がい者運動会 |
| 6月 | ボーリング大会 |
| 7月 | レクリエーション |
| 8月 | 川遊び、みんなの音楽会 |
| 9月 | レクリエーション |
| 10月 | 一泊旅行（〇〇方面） |
| 11月 | レクリエーション |
| 12月 | 忘年会 |
| 1月 | 成人を祝う会 |
| 2月 | カラオケ大会 |
| 3月 | 花見 |

6 日 課

開所・送迎・清掃	8:30～	9:00
朝 礼	9:00～	9:15
準 備	9:15～	9:30
作 業	9:30～	10:30
休 憩	10:30～	10:45
作 業	10:45～	11:45
片付け	11:45～	12:00
昼休み	12:00～	13:00
昼 礼	13:00～	13:05
準 備	13:05～	13:15
作 業	13:15～	14:15
休 憩	14:15～	14:30
作 業	14:30～	15:30
終 礼	15:30～	15:50
送 迎	15:50～	16:30
清掃・記録等	16:30～	17:00
職員打ち合わせ	17:00～	17:30

7 重点課題・目標

- 1) 利用者一人ひとりの作業に対するやりがいと責任感の構築

やりがいと責任感を持って利用者一人ひとりが作業に従事できるよう、以下の2点を今年度の重点目標として取り組む。

- (1) 一人ひとりに対して職業指導計画を作成し、目標設定を明確にすることで職業指導の充実を図る。
 - (2) 一人ひとりの作業レベルや状況に合わせた、声かけ、作業目標の設定とその達成度の共有など行い、作業意欲の向上を図る。
- 2) 就労支援事業収入の収益拡大
- 工賃向上を図るために、就労支援事業収入の前年度比500,000円増を目標とする。各事業の年間売上目標は以下の通りとする。
- (1) クッキー事業収入 710万円(前年度比200,000円増)
主にクッキー製造へ配置していた職員2名が異動となる為、新たに配置される職員の作業技術向上を図る。年度末までに定番商品を1人で製造できるようにする。
 - (2) パン事業収入 270万円(前年度比200,000円増)
28年度に新たに配置された職員の作業技術向上を図る。また、コダイラブランドを活かして販路拡大を行う。
 - (3) 受注事業収入 20万円(前年度比100,000円増)
これまではポストイング作業を中心に活動を実施してきたが、室内作業などの受注も視野に入れ作業内容を再検討する。
- 3) 職員の支援能力向上
- 利用者一人ひとりの支援をより丁寧に行うために、職員一人ひとりの支援能力向上を図る。
- (1) 新たな職員体制となるため、一から利用者一人ひとりの特徴や留意点について職員間で共有する。また必要に応じて関係機関と連携するなど、支援の範囲を地域生活に広げていく。
 - (2) 精神保健福祉基礎研修などへ参加し、増加する精神疾患の利用者への支援技術の向上を図る。

8 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

9 健康管理

定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健士等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

10 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員および生活支援員

救助担当 職業指導員および生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。